

過疎地域の空き家再生のきっかけの研究
～丸亀市民の意識を変えるまちづくり～

代表 坂東 幸輔（京都市立芸術大学美術学部デザイン科環境デザイン専攻 講師）

[研究報告要旨]

全国に増え続ける空き家を再生することは新築の建物をつくるよりも簡単なことのように見えるが、空き家所有者の理解が得られず空き家が使用出来ない、空き家を活用して事業を行なう人材がいないといった人的な要因で、空き家再生が困難となっている場合が多い。空き家を活用するための人の意識を変えるきっかけをどのようにつくるのかを研究するため、香川県丸亀市で空きテナントを改修工事なしで使用しイベントを行なった。地方公共団体や空き家オーナー、地域住民らにどのような印象・効果を与えたか調査・分析し、きっかけづくりの方法論をまとめた。